

○「農業懇談会 検討会の設置へ」

(京都府宮津市 吉津地区連絡会議)(平成31年度第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

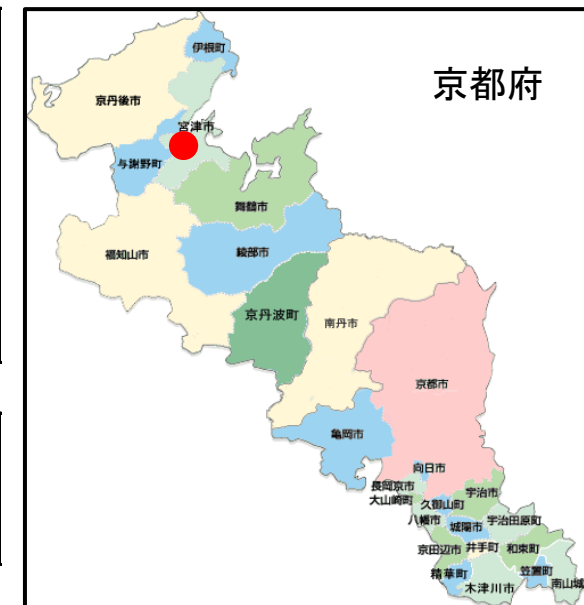
- 日時(時期): 令和元年7月18日(木) 14:00~16:00
- 場 所: 宮津市吉津集会所
- 出席者: 尾関委員、糸井推進委員
協力員3人、農家組合長3人、市1人
事務局2人 委員2人、委員以外9人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 耕地30ha、地区区分は須津西・須津東・文殊(地区により農業・農地に対する考えが違う)
- 共同作業4ha: 高齢のため29年に解散 受託組合(コンバイン、乾燥機): 高齢のため3年前に解散
他地区の耕作者1人1ha ※須津農家組合(自治会連携): 地主・耕作者105人で構成、水路整備やヘリ防除

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業懇談会(吉津地区は農家組合長も参加)
京力農場プラン、農地中間管理事業について市から説明。これに対する質問に終始してしまった
・取り組みに対する地域へのメリットは? ・プラン実施区域で成果があがっているのか?
・中間管理事業に申し入れても借り手がなかったらどうなるのか ・地域にまとめる者がいない 等
※行政による制度説明が前面になり話し合いにならなかったが、「話し合い検討会の設置」が決まった
ことが救い
- 利用状況調査の説明(農業委員会事務局から説明)



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援